

DR. MARTY NATALEGAWA

Foreign Minister of Indonesia (2009 – 2014)

LONDON
SPEAKER
BUREAU



DR. RM MARTY M. NATALEGAWA はインドネシアの外務大臣を務めました (2009 ~ 2014 年)。著書に『ASEANは重要か? 「内からの眺め」』ISEAS Publishing - 2018

彼は『地政学とインドネシア経済: 影響と政策対応』を共著し、地政学とインドネシア経済の問題についてインドネシア中央銀行インドネシア銀行研究所と共同で研究を行いました。

彼は国連事務総長の調停に関するハイレベル諮問委員会のメンバーです。UNSGの軍縮諮問委員会と国連軍縮研究所の理事会。彼は国連総会の健康危機への世界的対応に関するハイレベルパネルのメンバーであり、国連総会の第72会期外部顧問チームの国連議長も務めました。

また、とりわけ、オックスフォードイスラム研究センターの国際学術諮問委員会のメンバーでもあります。オタワのグローバル多元主義センターの理事会。戦略国際問題研究所CSIS - ワシントン DCの東南アジア諮問委員会。済州フォーラムのグローバル諮問委員会。西オーストラリア大学公共政策研究所諮問委員会。インドネシア銀行研究所の名誉理事。彼は現在、アジア協会政策研究所の特別研究員ラジャラトナム国際関係大学院の特別客員研究員、オックスフォード・イスラム研究センターの客員研究員でもあります。彼は、核不拡散と核軍縮を目指すアジア太平洋リーダーズネットワークAPLNの議長を務めています。日本政府が設立した「核兵器のない世界を目指す国際賢人会議」のメンバーでもある。

ナタレガワ博士は、インドネシアの国連常任代表/大使を務めました (2007 ~ 2009 年)。駐英国大使および駐アイルランド大使 (2005 ~ 2007 年)。彼は、1986年から2014年までインドネシア外務省でASEAN協力局長、国際機関局長、首席補佐官、外務省報道官など、さまざまな役職を務めました。

ASEAN内では、2003年のバリ協定IIを通じてASEAN共同体の推進に尽力してきました。東アジアサミット、国際国家社会におけるASEAN共同体に関する2011年のバリ合意IIIおよびEAS加盟国間の紛争の平和的解決と武力行使の否認を定めた2011年の「バリ原則」の開始に貢献した。彼は、「動的均衡」の概念を通じて、インド太平洋におけるASEANの役割を早くから提唱していました。外務大臣としての活動も含め、一貫して、彼はこの地域における潜在的な紛争の管理と解決を積極的に推進した。

国連内では、2007年11月の安全保障理事会議長、コンゴ民主共和国およびルワンダに対する安全保障理事会制裁委員会、平和維持活動作業部会の委員長などを務めました。彼は国連非植民地化特別委員会の委員長も務めました。彼は国連内外の数多くの多国間交渉でインドネシア代表団を率いました。同氏は、2012年のインドネシアの包括的核実験禁止条約CTBT批准の確保に尽力した。

マーティ・ナタレガワ博士は、2011年にインドネシア共和国政府からサチャランチャナ・ウィラ・カリヤ勲章を授与されました。2014年8月17日、ピンタン・マハプトラ・アディプラダナ勲章を授与されました。メダルは国家への貢献に対して個人に授与されます。

Topics

- Asia
- Author
- Government
- Politics

2012年11月、グレートブリテンおよび北アイルランド連合王国のエリザベス2世女王陛下から、聖マイケル・聖ジョージ勲章(KCMG)の名誉騎士団長に任命されました。

彼は「インドネシア国内、東南アジア、そしてより広範なアジア太平洋地域の両方において、同世代で最も尊敬される外交政策および国際安全保障思想家の一人」として挙げられている。

彼はD.Philを獲得しました。オーストラリア国立大学出身。M.フィル。ケンブリッジ大学出身。ロンドン スクール オブ エコノミクス アンド ポリティカル サイエンス(LSE)で学士号(優等学位)を取得しています。